

図書館だより

江北高校図書館

第6号 2024.10

『チ。— 地球の運動について —』

10/5 (土) からアニメ開始!

cover

舞台は 15 世紀のヨーロッパ。

<天動説>が真理だとされていた世の中で、
異端である<地動説>を追究した人々の物語です。

歴史や科学に興味のある人は特にオススメの漫画です!

※コミック全8巻 図書館に所蔵しています

10/1~10/31

★ハロウィン月間★

今年も図書館をハロウィン仕様にしました!

期間中、本を借りた人には **お菓子**か**いたずら** が
待っていますのでお楽しみに♪

(驚かしたりはしないのでご安心ください…★)



図書紹介



『湖底のヒマワリ』 全5巻 石川優吾

猛暑による渇水でダムが干上がり湖底に沈んでいた青旗村が姿を現す。この村出身だった拓郎はかつて友人3人が失踪し遺体で発見されたことを思い出す。あまりに悲劇的な出来事だったために記憶から抹消していたのだった。拓郎は湖底の村を尋ねるがなぜかそこには一面のヒマワリが咲いていた。ヒマワリ畑を抜けて村に向かうとそこは20年前の廃村寸前の村だった。大人の心を持ったまま小5になってしまった拓郎は失踪してしまうはずの友人3人を助けようとする。大人である拓郎は、当時全く気が付かなかった彼らの家庭環境の問題や難しさを知る事となる。
果たして拓郎は友人たちを救うことができるのか?

cover

『フランケンシュタイン』 メアリー・シェリー

著者のメアリー・シェリーは執筆当時19歳。恋人や友人たちと湖畔の館に宿泊していたとき、大雨でなかなか外に出られず、暇つぶしのために「1人1作ずつ怪奇譚を作る」ことになりました。そこで思いついた物語が『フランケンシュタイン』です。

実は彼女は、若くして駆け落ちや死産を経験していました。辛い体験が作品にも影響を与えたのか、ただ恐ろしいだけのゴシックホラーではなく、生み出されてしまった人造人間の苦悩など考えさせられる部分が多い作品です。

日本人の伊藤計劃&円城塔による『屍者の帝国』というオマージュ作品もあるので、気になる人は読んでみてください。

cover